



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 アルビス株式会社

コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）池田 和男

問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長（氏名）藤井 秀亮（TEL）0766-56-7200

半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	50,229	3.9	718	△10.5	989	△6.8	576	△15.5
2025年3月期中間期	48,365	△0.2	802	△29.4	1,061	△25.0	683	△24.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 791百万円（ 27.6％） 2025年3月期中間期 620百万円（ △38.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	68.32	—
2025年3月期中間期	78.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	55,361	32,151	58.1	3,847.99
2025年3月期	52,890	32,322	61.1	3,768.75

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 32,151百万円 2025年3月期 32,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,084	4.0	2,258	9.4	2,813	8.0	1,630	0.5	190.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	9,255,926株	2025年3月期	9,255,926株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	900,617株	2025年3月期	679,383株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	8,444,676株	2025年3月期中間期	8,651,879株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の継続的な拡大等により景気は緩やかな回復基調にありますが、原材料価格・電気料等の高留まりや物価上昇に伴う消費支出の低迷、米国の通商政策による世界経済への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、継続する物価高の影響から消費者の節約志向はさらに強まっていることに加え、業種業態を超えた競争の激化や人件費の上昇、電気料・物流費の高留まり等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食を通じて地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献します」の企業理念のもと、前期より3年間(第58期～第60期)のビジョンを示した第四次中期経営計画を進めております。

第四次中期経営計画では「私のお店と言ってもらえるアルビスファンを増やす」を経営方針とし、「お客さまを笑顔にする商品の提供」「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」「事業を通じた地域社会の課題解決」の5つを重点施策として、以下のとおり取り組んでおります。

「お客さまを笑顔にする商品の提供」については、多様化するお客さまニーズに応えるため、健康志向や簡便即食商品を拡充するとともに、今年度より商品部内に新たに「商品開発課」を設置し、名物商品などの高付加価値商品の開発を推進しております。また、お客さまの節約志向に応えるため、PB商品の拡大や300品目をお値打ち価格で提供する食卓応援企画などを継続して実施するとともに、2025年6月より、各自治体の子育て応援企画と連携した施策「ハピマル」として、毎週土・日曜日にお買い物金額から5%を割引くサービスをスタートしております。

「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」については、店舗運営の標準化により顧客満足度の向上を図るとともに、最新MDを導入した店舗改装を順次実行しております。また、お客さまのライフスタイルの変化や多様なニーズに応えるため、当社の基本的な営業時間を見直し、開店時間を1時間早め午前9時とするとともに、本年8月には、公式ECサイト「albisオンラインショップ」を開設しております。店舗投資については、既存店は、2025年7月に「杜の里店」(石川県金沢市)を「アルビスくらす」として改装オープンし、10月に「太閤山店」(旧パスコ店 富山県射水市)を建替えオープンしております。新店としては、8月に小商圈戦略店舗の富山県内一号店となる「アルビスくらすSOGAWA」(富山県富山市)をオープンしております。

「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」については、新入社員から経営幹部までの各階層に応じた研修を実施するとともに、DX人材や女性管理職育成に向けた教育プログラムを実施しております。また、従業員が健康でやりがいを感じながら働ける職場環境の実現を目指し、健康維持・増進に向けた各種施策を実施する等、健康経営に取り組むとともに、従業員がより働きやすい環境の実現に向け、パート社員の評価制度を見直し、業務遂行レベルに応じて短期で昇給できる制度を導入しております。

「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」については、店舗運営の標準化や電子棚札(ESL)の導入等により店舗の生産性の向上を図るとともに、プロセスセンターにおいては継続的な原価改善と品質向上に努めております。2025年11月には、海産物や魚惣菜の加工に特化した海産プロセスセンターの稼働を予定しており、店舗における作業工数削減に取り組んでまいります。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、地域行政との連携を通じて様々な課題解決に取り組んでおります。食品ロス削減への取り組みとしては、リレーフードドライブ活動の実施を継続して取り組んでおります。また、当社は、従業員に対し認知症サポーターの取得を推進しており、2025年9月末現在766名が取得し、認知症の方にも安心してお買い物いただけるよう取り組んでおります。お客さまに安心してお買い物いただけるお買い物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、2025年9月末現在24台で運行しております。

2050年の脱炭素社会実現の一環として、温室効果ガス(GHG)の測定のほか、SDGs目標達成へ向けた環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおります。店舗では、トレイ・ペットボトル回収などのリサイクル活動に加え、太陽光パネルの設置店舗を拡大するなど再生可能エネルギーの利用を拡大しております。また、食品廃棄量の削減に向け、従来の消滅型生ごみ処理機に加え、循環型の生ごみ処理機の導入に取り組むなど、サステナブルな生活提案と環境負荷低減を推進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間(2025年4月～9月)は、前期新店1店舗(北方店)や建替え新店2店舗(婦中速星店、大広田店)等の効果もあり、営業収益50,229百万円(前年同期比3.9%増)となりました。利益面では、商品値上げや急激な相場変動等の影響があったものの、高利益商品やPB商品等の販売拡大とプロセスセンターの原価改善により売上総利益率は前年同期を0.2%上回りました。一方、賃金増など人的資本への積極的な投資を行ったことに加え、前期新店・建替え新店等の店舗投資に係る減価償却費が増加した影響等により、営業利益718百万円(前年同期比10.5%減)、経常利益989百万円(前年同期比6.8%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は576百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,471百万円増加し、55,361百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金の増加額1,077百万円、売掛金の減少額253百万円、建物及び構築物(純額)の増加額1,318百万円、投資その他の資産のその他の増加額337百万円等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,643百万円増加し、23,210百万円となりました。

この主な要因は、買掛金の減少額197百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額882百万円、流動負債のその他の減少額798百万円、長期借入金の増加額2,728百万円等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ171百万円減少し、32,151百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金の増加額276百万円、自己株式の増加額664百万円、その他有価証券評価差額金の増加額214百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,077百万円増加し、7,295百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前中間連結会計期間に比べ1,238百万円増加し、1,696百万円となりました。

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前中間純利益892百万円、減価償却費1,289百万円、売上債権の減少額253百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加額119百万円、支払債務の減少額425百万円、未払消費税等の減少額125百万円等による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前中間連結会計期間に比べ768百万円増加し、3,011百万円となりました。

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、有形固定資産の取得による支出3,022百万円等による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前中間連結会計期間に比べ1,247百万円増加し、2,392百万円となりました。

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、長期借入れによる収入5,000百万円による資金の増加と、自己株式の取得による支出670百万円、長期借入金の返済による支出1,388百万円、配当金の支払額300百万円、リース債務の返済による支出248百万円による資金の減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年4月30日に「2025年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	7,295
売掛金	2,821	2,568
商品	2,614	2,754
原材料及び貯蔵品	219	198
その他	2,877	2,835
貸倒引当金	△77	△143
流動資産合計	14,674	15,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,856	18,175
土地	11,357	11,339
その他(純額)	4,098	4,059
有形固定資産合計	32,313	33,574
無形固定資産		
その他	897	910
無形固定資産合計	897	910
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,420	3,383
その他	1,805	2,143
貸倒引当金	△221	△159
投資その他の資産合計	5,004	5,367
固定資産合計	38,215	39,852
資産合計	52,890	55,361
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,546	5,349
1年内返済予定の長期借入金	1,919	2,801
未払法人税等	460	444
賞与引当金	633	643
その他	4,642	3,844
流動負債合計	13,202	13,083
固定負債		
長期借入金	4,650	7,378
受入敷金保証金	638	713
資産除去債務	882	887
その他	1,193	1,147
固定負債合計	7,364	10,127
負債合計	20,567	23,210

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908	4,908
資本剰余金	5,633	5,634
利益剰余金	23,174	23,451
自己株式	△1,669	△2,333
株主資本合計	32,047	31,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275	490
その他の包括利益累計額合計	275	490
純資産合計	32,322	32,151
負債純資産合計	52,890	55,361

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	47,855	49,698
売上原価	33,385	34,566
売上総利益	14,470	15,132
不動産賃貸収入	509	530
営業総利益	14,979	15,662
販売費及び一般管理費	14,177	14,944
営業利益	802	718
営業外収益		
受取利息	5	17
受取配当金	12	10
受取手数料	20	23
受取販売奨励金	107	115
その他	169	180
営業外収益合計	314	347
営業外費用		
支払利息	17	47
出向者給与	27	25
その他	10	4
営業外費用合計	55	76
経常利益	1,061	989
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除却損	8	106
特別損失合計	8	106
税金等調整前中間純利益	1,053	892
法人税、住民税及び事業税	281	354
法人税等調整額	88	△39
法人税等合計	370	315
中間純利益	683	576
親会社株主に帰属する中間純利益	683	576

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	683	576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	214
その他の包括利益合計	△62	214
中間包括利益	620	791
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	620	791
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,053	892
減価償却費	1,105	1,289
のれん償却額	1	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△119	9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△16
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△109	—
受取利息及び受取配当金	△17	△28
支払利息	17	47
有形固定資産除却損	13	4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8
売上債権の増減額(△は増加)	372	253
棚卸資産の増減額(△は増加)	△223	△119
支払債務の増減額(△は減少)	△1,405	△425
未払消費税等の増減額(△は減少)	△258	△125
その他	383	318
小計	787	2,094
利息及び配当金の受取額	13	21
利息の支払額	△16	△49
法人税等の支払額	△326	△370
営業活動によるキャッシュ・フロー	457	1,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△126	△104
投資有価証券の売却による収入	—	12
有形固定資産の取得による支出	△1,391	△3,022
有形固定資産の売却による収入	—	21
無形固定資産の取得による支出	△69	△21
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△8
敷金及び保証金の回収による収入	195	67
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△800	△47
その他	△29	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,243	△3,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△300	—
長期借入れによる収入	3,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△999	△1,388
配当金の支払額	△302	△300
リース債務の返済による支出	△252	△248
自己株式の取得による支出	△0	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,144	2,392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△640	1,077
現金及び現金同等物の期首残高	5,587	6,218
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,946	7,295

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)
(子会社の吸収合併)

当社は、2025年7月11日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社パスコを吸収合併することを決議し、2025年10月1日付で合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称 株式会社パスコ

事業の内容 ショッピングセンターの運営

(2) 企業結合日

2025年10月1日

(3) 企業結合の方法

当社を存続会社、株式会社パスコを消滅会社とする吸収合併

なお、本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併であり、株式会社パスコにおいては会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、いずれも合併契約承認に関する株主総会を開催していません。

(4) 企業結合後の名称

アルビス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

完全子会社である株式会社パスコを吸収合併することにより、経営資源の集約と経営効率化を図るものであります。なお、当社の完全子会社との合併であるため、本合併による株式その他金銭等の割当てはありません。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理いたします。